



まぼりひがし・まぼりみなみ公園を考える ワークショップのしおり (1回目)

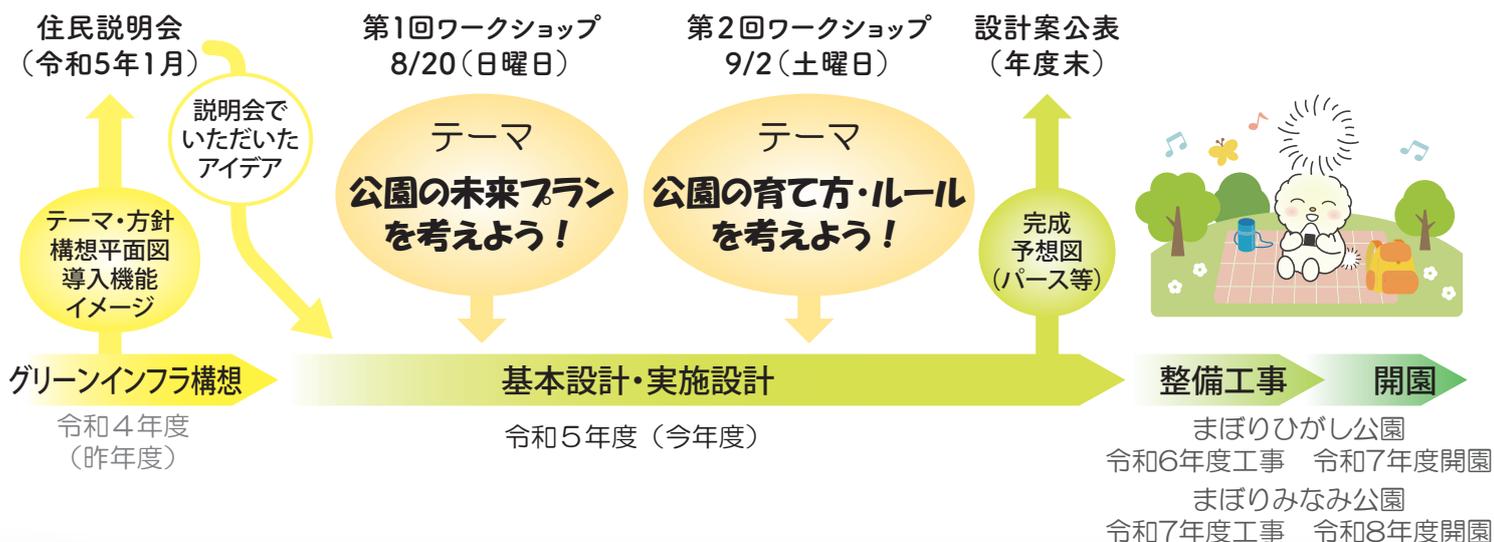


ワークショップの目的

このワークショップは、根岸台5丁目に計画される新しい2つの公園について、末永く「わたしたちの公園」として身近に感じ利用していただけるように、皆さんから公園の機能や使い方などのアイデアを出していただくことを目的とします。

市では、このワークショップによるアイデアを踏まえつつ、施設や規模などの具体的な事項を決めて、公園の設計を行います。

公園整備に向けたスケジュール



本日の予定

- 13:00 ～ 開会、あいさつ
- 13:10 ～ 公園事業とワークショップの説明
 - ① グリーンインフラ構想と説明会でいただいたアイデアのふりかえり
 - ② これまでの検討に基づいたゾーニングプランの紹介
- 13:30 ～ グループワーク『公園の未来プランを考えよう!』
- 14:30 ～ 発表の準備
- 14:50 ～ 各グループの発表
- 15:30頃 閉会、お知らせ

グリーンインフラ構想（令和4年度）のおさらい

このテーマを継承し
未来プランを
検討します

テーマ 方針

まぼりひがし公園

まぼりひがし公園の 立地特性に即したテーマ設定

誰もが楽しめる多様な遊び空間

子どもの遊び場、トレーニングエリアや
休憩エリアなど多様な利用を
受け止める公園

雨水を浸透させる雨庭

シンボルツリーを活かした広场景観づくり

3公園共通方針

平常時には憩いと涼感
非常時に強さを発揮する公園

遊び場や軽運動などの動的なエリアと
休息のエリアをゆるやかに分けた
誰もが楽しめる公園

四季折々に楽しむことのできる草木や
蝶やバッタなどの生き物にふれあえる
公園

まぼりみなみ公園

まぼりみなみ公園の 立地特性に即したテーマ設定

静かな憩いのガーデン広場、
のびのびと遊べる広場の多様な利用

地域の水循環と連動する雨庭

静と動のゾーン配置

構想ゾーニング図・導入機能イメージ

けやきの原っぱゾーン
冒険広場ゾーン
シェアサイクル
駐輪ゾーン
雨庭(降雨時冠水型植栽)ゾーン
面的な雨水浸透ゾーン



広々とした
けやきの原っぱ



木陰のベンチ



ユニバーサルデザインに
配慮した遊具



健康づくりの
サーキット・トレーニング



災害時に防災施設として
転用可能なかまどベンチやテント

ゆったり原っぱゾーン
冒険広場ゾーン
ガーデニングゾーン
雨庭(降雨時冠水型植栽)ゾーン
面的な雨水浸透ゾーン



子どもの遊び場



暑熱対策の日よけベンチ



雨水浸透機能をもつ公園



災害時に防災施設として
転用可能なテントやベンチ

住民説明会等でいただいた主なご意見

ご意見をまとめた資料を
別紙に用意しています

- 公園への要望を【遊び】、【憩い】、【安全・安心】、【便利さ】、【運動・健康】に分けると、【遊び】への要望が最も多い。
- 【遊び】に関わる要望は、小学校アンケートでのご意見が多く、オープンハウス形式のヒアリングや住民説明会でのご意見、障害者施設ヒアリングの全ての回答で見られた。また、誰でも楽しめる様々な遊具(インクルーシブ)がある公園への要望が多くあった。小学校では、走り回りたいという意見が多かった。
- 【憩い】は、遊びに次いで要望が多く、年齢や障害の有無に関係なく散歩ができ、緑豊かな樹木(木陰)がある公園、のんびり集うことができる公園が求められている。樹木については、樹種への要望があるほか、植栽、高木、花壇、芝生について懸念する意見もあった。
- 【安全・安心】については、オープンハウス形式でのヒアリングや住民説明会で要望が多く、夜間の防犯に関する意見や防災機能の充実に関する意見、安心して利用できる公園への意見等があった。また、小学校では、禁煙に関する意見もあった。
- 【便利さ】は、トイレや駐車場・駐輪場・ベビーカー置き場等の意見が多くみられた。
- 【運動・健康】に関しては、ボール遊びの要望が多い。一方で、反対意見も見られた。遊び程度のサッカーやキャッチボール、バスケットボールのシュート等、「遊び」の延長と思われる要望も見られ、その場合には、囲いが欲しいとの要望も多く見られた。また、体操等健康づくりに係る要望も見られた。

これまでの検討にもとづいたゾーニングプランの紹介

根岸台5丁目周辺の公園調査でわかったこと

- ①だれでも支障なく利用できる身近な公園、遊具が少ない。
- ②ボール遊びが禁止されている
- ③緑陰の少ない公園がある一方で、植栽によって見通しの悪い公園もある。(適切な密度・管理しやすい植栽が必要)
- ④緑化ボランティアが、地域美化に尽力している。管理のしやすさなど配慮が必要か。

敷地の良いところと課題

まぼりひがし公園

- ①ケヤキの大木が地域のランドマークになる
- ②まとまりのある面積と敷地形状で使いやすい
- ③周囲は低層建築で、空が広く感じる
- ④まぼりみなみ公園が近い(連携できる)

- ①住居等が隣接し、公園内施設配置に配慮が必要
- ②平坦であるため、風景が単調にならないように配慮必要

まぼりみなみ公園

- ①北側には集合住宅の豊かな緑が連続する
- ②周囲に畑が分布し、より広がりを感じる
- ③まぼりひがし公園が近い(2つで1つの公園のように連携できる)

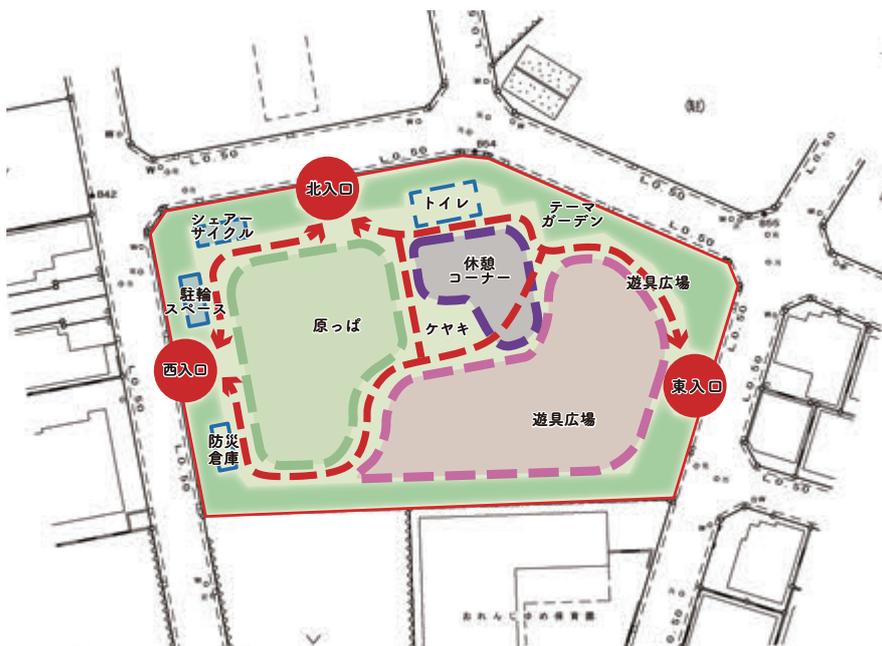
- ①やや面積が狭いため、導入機能を絞る必要がある
- ②北側は集合住宅が近く、風景づくりに配慮が必要

良い点

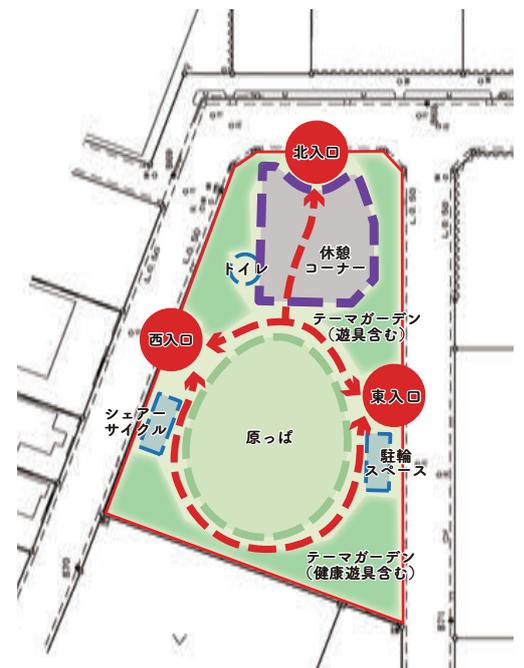
課題

ゾーニング・プラン(広場や施設の配置について概ねの方向を示した図面のこと)

まぼりひがし公園



まぼりみなみ公園



グループワーク『公園の未来プランを考えよう!』について

今日の目標は、「公園の未来プラン」をつくる! です。

① 具体的な使い方や機能を描いてみる!

② 公園の魅力を伝える3つのテーマ

進め方

① 具体的な使い方や機能を描いてみる!

各自で付箋（黄色）を使って、使い方や機能を書いて、大きなゾーニングプランに貼りましょう。

例) だれでも遊具はココがいい!
広い原っぱで鬼ごっこ
木陰のベンチで読書したい
どろんこ遊び
広場で花見したい

例) ユニバーサルトイレほしい
見守りのベンチはココがいい
夏の日差しを遮る日よけをしっかりと
軽運動できる場所 防災倉庫

② 公園の魅力を伝える3つのテーマを考える!

みんなで考えた使い方や機能から、公園の個性を表すテーマを付箋（水色）に書いて貼りましょう。そして、3つぐらいのテーマに集約しましょう。

例) 大きな木が見守る公園
みんなが集える公園
四季折々の草花がある公園

③ 発表の準備

14:50から発表です。発表する方を決めましょう。発表に向けて、未来プランをまとめましょう。

話し合いの3つのルール

- ・遠慮しない：思ったことはどんどんのべましょう
- ・否定しない：意見を非難しないようにしましょう
- ・長く話しすぎない：皆さんの意見をききましょう

